

平成29年4月27日

原料費調整制度に基づく平成29年6月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成29年6月検針分の単位料金を、平成29年5月検針分に比べ、1m³(45MJ)につき0.78円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成29年1月～平成29年3月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で平成29年5月検針分と比較して、23円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成29年6月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

なお、今回の平成29年6月検針分から、標準家庭におけるガスのご使用量を見直しました。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

1か月の ご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,036.80	1,209.60	1,857.60	6,177.60	12,225.60
調整単位料金 (円/m ³)	132.94	118.36	116.20	112.96	104.32	96.76
(参考) 5月 調整単位料金	132.16	117.58	115.42	112.18	103.54	95.98

2. 標準家庭における影響

1か月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	平成29年 5月	平成29年 6月	増減
適用料金(円/月)	4,564	4,587	23

1か月のご使用量 32m ³ (45MJ/m ³)	平成29年 5月	平成29年 6月	増減
適用料金(円/月)	4,799	4,824	25

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(平成24年度～平成28年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 平成29年6月検針分から、標準家庭におけるガス使用量の算定期間を見直しました。
見直し後:平成24年度～平成28年度の5か年平均のご家庭1件の1か月あたり平均使用量
見直し前:平成18年度～平成22年度の5か年平均のご家庭1件の1か月あたり平均使用量
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成28年12月～平成29年2月の平均 (5月検針分)	平成29年1月～平成29年3月の平均 (6月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	45,200	46,140	940
LNG	44,660	45,400	740
LPG	52,590	56,850	4,260

基準平均原料価格(b)	57,250		
-------------	--------	--	--

差額(a-b)	▲ 12,000	▲ 11,100	900
---------	----------	----------	-----

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 45,400 && \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 56,850 && \times 0.0546 \end{aligned}$$

46,138.67

↓(10円未満四捨五入)

46,140 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$46,140 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} = \text{▲ } 11,110 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

▲ 11,100 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \text{▲ } 11,100 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.08748^{*1}$$

$$= \text{▲ } 9.72 \text{ 円}^{*2}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08748(0.081×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	平成29年 5月	平成29年 6月	増減
適用料金(円/月)	4,564	4,587	23

・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込)

$$\begin{aligned} & = \text{基本料金(1,036.80円)} \\ & + \text{調整単位料金(128.08円)} + \text{▲ } 9.72 \text{ (円)} \times 30\text{m}^3 \end{aligned}$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(57,250円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08748円(0.081円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。